

CVPが完全なRootdbs問題を報告する場合のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題：「DBSpace is full: 'rootdbs' – 警告： DBspace rootdbs is full」](#)

[解決方法](#)

[確認](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Customer Voice Portal(CVP)Reportingサーバの「DBSpace is full」または「DBSpace rootdbs is full」の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

Cisco CVPサーバに関する基本的な知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

- CVPサーババージョン10.5および11.0

問題：「DBSpace is full: 'rootdbs' – 警告： DBspace rootdbs is full」

Rootdbsチャンクには、IDSによって管理されるシステムテーブルおよびその他の内部データ構造が含まれます。完全なrootdbはinformix DBを不安定にし、重要なサーバパフォーマンスの問題を引き起こし、新しいデータはテーブルに挿入されません。完全なrootdbs状態では、CVPレポートサーバのパフォーマンスが著しく低下する可能性があります。このドキュメントで説明する診断とソリューションのセクションは、この状態に迅速に対応して修正するための有用なリファレンスです。

ステップ 1：cvp_dbadminユーザでCVP Reportingサーバにログインします。

Windowsイベントビューアのアプリケーションログで、次のエラーを確認できます。

```
cvp : SCHAPI: [post_alarm_message 19-34805] Error -131 ISAM error: no free disk space
cvp : SCHAPI: [post_alarm_message 19-34805] Error -271 Could not insert new row into the table.
```

CVPレポートログ(C:\Cisco\CVP\Logs\Reporting.txt)に、次のエラーが記録されている場合があります。

```
%CVP_11_0_RPT-3-INFORMIX_ALARM: [44]: DBSpace is full: 'rootdbs' -- WARNING: DBspace rootdbs is full [
%CVP_11_0_RPT-3-INFORMIX_ALARM: [44]: DBSpace is full: 'rootdbs' -- WARNING: DBspace rootdbs is full [
```

ステップ 2 : Windowsコマンドプロンプト(CMD)から次のコマンドを実行します。

```
<#root>
```

```
oncheck -pe > c:\tmp\onchk.txt
```

次の出力は、各チャンクのrootdbsパス、使用済みサイズ、および空きサイズを示しています。

```
<#root>
```

```
Bspace Usage Report: rootdbs                               Owner: informix   Created: 11/18/2016

Chunk Pathname                Pagesize(k)      Size(p)          Used(p)          Free(p)
1 E:\IFMXDATA\cvp\rootdbs.000      4                12800            12795
5
```

解決方法

完全なrootdbs条件を修正するには、新しいrootdbsチャンクを作成する必要があります。

ローカルユーザInformixを作成し、informix_adminグループに追加します。

ステップ 1 : Runを開き、MMCと入力してEnterキーを押します。開いたコンソールで、File > Add or Remove Span-in...の順にクリックします。

ステップ 2 : Local Users and Groups > Add > Finish > OKの順に選択します。

ステップ 3 : Usersフォルダに、Informixという名前の新しいユーザを作成します。

ステップ 4 : Informixユーザをグループinformix_adminのメンバーとして設定します。

ステップ 5 : 100mbを追加してrootdbsを拡張します。そのためには、次のコマンドをCMDで実行します。

<#root>

```
cd E:\IFMXDATA\cvp
```

```
dir
```

```
08/01/2017 12:35 PM 3,221,225,472 cvp_data_dbspc.000
08/01/2017 12:35 PM 209,715,200 cvp_plog_dbspc.000
08/01/2017 12:35 PM 104,857,600 cvp_prim_dbspc.000
08/01/2017 12:35 PM 209,715,200 cvp_temp_dbspc.000
08/01/2017 12:35 PM 52,428,800
```

```
rootdbs.000
```

手順 6 : 新しい名前でrootdbsチャンクを作成します。


<#root>

```
touch rootdbs.001
```

```
onspaces -a rootdbs -p E:\IFMXDATA\cvp\rootdbs.001 -o 0 -s 102400
```

```
Verifying physical disk space, please wait...
```

```
Chunk successfully added.
```

 注 : 論理ログと物理ログがRootdbsチャンクにインストールされていないことを確認してください。論理ログと物理ログがrootdbにインストールされている場合は、不具合 [CSCup15318](#) の回避策を適用してください。

Informixログに「458 - Long transaction aborted Instability with Informix」のようなエラーが生成されていないことを確認します。

確認

1. 新しいRootdbsチャンクが追加されたことを確認するには、CMDで次のコマンドを実行します。

<#root>

```
D:\IFMXDATA\cvp>onstat -d
```

Dbspaces

address	number	flags	fchunk	nchunks	pgsize	flags	owner	name
00000000877CC030	1	0x60001	1	2	4096	N B	informix	rootdbs
000000008916D600	2	0x40001	2	1	4096	N B	informix	cvp_plog_dbSPACE
000000008916D7B0	3	0x40001	3	1	4096	N B	informix	cvp_llog_dbSPACE
000000008916D960	4	0x40001	4	1	4096	N B	informix	cvp_sadm_dbSPACE
000000008916DB10	5	0x40001	5	1	4096	N B	informix	cvp_prim
000000008916DCC0	6	0x40001	6	1	4096	N B	informix	cvp_data_dbSPACE
000000008916DE70	7	0x42001	7	1	4096	N TB	informix	cvp_temp_dbSPACE

7 active, 2047 maximum

Chunks

address	chunk/dbs	offset	size	free	bpages	flags	pathname
00000000877CC1E0	1	1	0	12800	5	PO-B-D	D:\IFMXDATA\cvp\rootdbs.000
0000000089347030	2	2	0	287744	4947	PO-B-D	D:\ifmxdata\cvp\cvp_plog_dbSPC.000
0000000089348030	3	3	0	1150976	1150923	PO-B-D	c:\IFMXDATA\CVP_LLOGS\cvp_llog_dbSPC.000
0000000089349030	4	4	0	256000	255947	PO-B-D	c:\IFMXDATA\CVP_LLOGS\cvp_sadm_dbSPC.000
000000008934A030	5	5	0	25600	16266	PO-B-D	D:\ifmxdata\cvp\cvp_prim_dbSPC.000
000000008934B030	6	6	0	30146560	30136602	PO-B-D	D:\ifmxdata\cvp\cvp_data_dbSPC.000
000000008934C030	7	7	0	2097152	2097099	PO-B-D	D:\ifmxdata\cvp\cvp_temp_dbSPC.000
0000000089839030	8	1	0	25600	25597	PO-B-D	D:\IFMXDATA\cvp\rootdbs.001

8 active, 32766 maximum

NOTE: The values in the "size" and "free" columns for DBspace chunks are displayed in terms of "pgsize" of the DBspace to which they belong.

2. 新しく追加されたチャンクがRootdbsに関連付けられていることを確認するには、CMDで次のコマンドを実行します。

<#root>

```
oncheck -pe > c:\tmp\onchk.txt
```

新しく作成したチャックがDBspace Usage Report: rootdbsに表示されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。